



前橋市教育委員会告示第 1 1 号

前橋市教育委員会 8 月定例会を次のとおり招集します。

令和 6 年 8 月 1 3 日

前橋市教育委員会

教育長 吉 川 真由美

記

1 日 時 令和 6 年 8 月 1 9 日 (月) 午後 2 時 3 0 分

2 場 所 市役所 6 階東会議室

3 付議事件

(1) 議案第 1 9 号 令和 6 年第 3 回定例市議会提出予定議案 (予算) の作成に対する意見について

(2) 議案第 2 0 号 令和 6 年第 3 回定例市議会提出予定議案 (事件) の作成に対する意見について

(3) 議案第 2 1 号 令和 5 年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書について

令和6年8月定例教育委員会提出事項

1 教育長報告

2 提出議案

議案番号	件 名	所 管 課
19	令和6年第3回定例市議会提出予定議案（予算）の作成に対する意見について	総 務 課
20	令和6年第3回定例市議会提出予定議案（事件）の作成に対する意見について	文化財保護課
21	令和5年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書について	総 務 課

3 その他

- (1) 行事について (総 務 課)
- (2) 令和6年度第1回前橋市教育情報利活用推進委員会の開催結果について (総 務 課)
- (3) 令和6年度第1回文化財調査委員会の開催結果について (文化財保護課)
- (4) 国際理解連続講座について (学 務 管 理 課)
- (5) 市立前橋高等学校体育館空調設備新設工事の概要について (市立前橋高校)
- (6) 令和6年度第1回前橋市社会教育委員会議の開催結果について (生涯学習課長)

教育委員会議案第 2 1 号

令和 5 年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書について

令和 5 年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書を次のとおり決定しようとする。

令和 6 年 8 月 1 9 日提出

前橋市教育委員会

教育長 吉 川 真由美

教育委員会9月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	日				
2	月	幼・小・中・特別支援学校2学期始業式			学校教育課
3	火	令和6年第3回定例市議会開会(～26日まで)			
4	水				
5	木				
6	金				
7	土				
8	日				
9	月				
10	火	総括質問1日目		議場	
11	水	読み聞かせボランティア養成講座(初級)	10:00～12:00	前橋こども図書館	図書館
		総括質問2日目		議場	
12	木	教育委員会9月定例会	14:30～15:30	前橋市役所11階北会議室	総務課
13	金	中学校英語弁論大会	12:45～16:20	総合教育プラザ	学校教育課
14	土	大室古墳の語り部定例案内	9:30～11:00	日本キャンパック大室公園	文化財保護課
15	日				
16	月	敬老の日			
		市民天文教室	19:30～21:00	児童文化センター	教育支援課
17	火				
18	水				
19	木	青少年育成推進員研修会	19:00～20:30	中央公民館ホール	生涯学習課
		教育福祉常任委員会	10:00～	第一委員会室	
20	金				
21	土				
22	日	秋分の日			
		臨江閣ガイドツアー	①10:30～ ②13:30～	臨江閣	文化財保護課
23	月				
24	火				
25	水				
26	木				
27	金	市P連 第6学区教育懇話会	15:00～16:30	城南公民館	学務管理課
28	土	前橋ユネスコ協会「私の住みたい夢のまち」絵画展表彰式 (展示:9/28～10/7)	11:00～12:00	中央公民館3階ホワイエ	生涯学習課
29	日				
30	月				

教育委員会10月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	火				
2	水				
3	木				
4	金				
5	土	中学校駅伝競技大会	8:30～	群馬電工陸上競技場(市総合運動公園)及び周辺コース	学校教育課
6	日				
7	月				
8	火	前橋市交通指導員表彰式	14:00～15:00	議会棟 3階301会議室	学務管理課
9	水	小学校陸上記録会	9:30～	正田醤油スタジアム群馬	学校教育課
10	木				
11	金				
12	土	国際理解連続講座 第1回「多文化を知ろう」	9:30～11:45	第三コミュニティセンター	学務管理課
		前橋まつり鼓笛吹奏楽	午前 11:05～12:10 午後 13:15～14:15	国道50号、立川町通	学校教育課
13	日	前橋まつり鼓笛吹奏楽	午前 11:05～12:10 午後 13:15～14:15	国道50号、立川町通	学校教育課
14	月	スポーツの日			
15	火	教育委員会10月定例会	14:30～15:30	前橋市役所11階北会議室	総務課
16	水	市P連 第7学区教育懇話会	15:00～16:30	大胡公民館	学務管理課
17	木				
18	金				
19	土	小学校運動会	8:30～12:00	各学校	学校教育課
20	日				
21	月				
22	火				
23	水				
24	木	まえばし図書館まつり: 「〇〇袋—どんな本があるかな?—」(貸出開始日)		前橋こども図書館	図書館
25	金				
26	土	中央公民館文化祭	9:30～16:00	中央公民館	生涯学習課
27	日	中央公民館文化祭	9:30～16:00	中央公民館	生涯学習課
28	月				
29	火	新出土文化財展2024(～11/10まで)	9:00～17:00	臨江閣別館1階 西洋間	文化財保護課
		市P連 第3学区教育懇話会	15:00～16:30	上川淵公民館	学務管理課
30	水	児童生徒音楽会1日目	午前 9:40～11:20 午後 13:40～15:20	昌賢学園まえばしホール	学校教育課
31	木	児童生徒音楽会2日目	午前 9:30～11:10 午後 13:40～15:20	昌賢学園まえばしホール	学校教育課

令和 6 年度第 1 回前橋市教育情報利活用推進委員会の開催結果について

総務課

会 議 名	令和 6 年度第 1 回前橋市教育情報利活用推進委員会
日 時	令和 6 年 7 月 2 9 日（月） 午後 3：30 から午後 5：00
場 所	前橋市議会庁舎 2 階研修室
出 席 者	（委員：12 人） 委員長 吉川教育長 副委員長 片貝教育次長、金井指導担当次長 委員 高橋総務課長、木村教育施設課長、神宮文化財保護課長 後藤学務管理課長、田村学校教育課長、 藤井前橋高等学校事務長、佐藤生涯学習課長 安藤教育支援課長、齋藤図書館長、中嶋情報政策課長、 山中小学校校長会会長、都所中学校校長会会長、 森坂公立学校教頭会会長、 青木悠樹群馬大学理数データ科学教委育研究センター長 （委員長指名による出席者：2 人） 和地学校教育課課長補佐兼情報教育推進係長 折田学校教育課 I C T 専門官 （事務局：1 人） 霜田総務課教育DX担当係長
議 題	検討事項 (1) 次期教育情報基盤について (2) 次期校務支援システムについて (3) 次期学習者用端末について
結 果 概 要	1 検討事項 (1) 次期教育情報基盤について（情報政策課） 文部科学省が進める「境界型のネットワークから、クラウドサービスの活用を前提としたアクセス制御型ネットワーク（ゼロトラストネットワーク）への方向転換」を基本に、令和 8 年度 10 月更新予定の次期教育情報基盤の構築を検討していくこととなった。 (2) 次期校務支援システムについて（学校教育課） 令和 8 年度 10 月更新予定の次期校務支援システムは、次期教育情報基盤に合わせて、校務の効率化に役立つ機能を搭載し、データ連携が可能であるクラウド型の次世代校務支援システムを基本として検討を行うこととなった。また、データ連携を行いダッシュボード機能による「教育データの見える化」も見据えて検討を行うこととなった。 (3) 次期学習者用端末について（学校教育課） 令和 2 年度末に G I G A スクール構想で導入した学習者用端末（i P a d）について、令和 7 年度末に更新を迎える際の通信方法は、現在の通信方法である「L T E 通信」を継続し、端末は、学習面・運用管理面・費用面でそれぞれ検証した結果、i P a d から C h r o m e b o o k への切り替えを検討していくこととなった。

	【主な理由】 〈学習面〉 小学校低学年から中学年は、i P a dの方が直感的な操作、クリエイティブな作業がしやすいが、小学校中・高学年から中学生は、タイピングスキル向上、クラウドベースの協働学習、画面上に複数のウィンドウを同時に表示しながらの学習においてC h r o m e b o o kの方が優位であるため。 〈運用管理〉 i P a dに比べC h r o m e b o o kは端末の一括管理やセキュリティ機能が強力であり、低コストでの運用管理を外部へ委託することが可能となるため。 〈費用面〉 C h r o m e b o o kは本体価格は安い反面、破損・故障率が高いが、全台保険加入することで破損率をカバーできるため。
主な意見等	(1) 次期教育情報基盤について 〈小学校校長会代表〉 アクセス制御型ネットワーク（ゼロトラストネットワーク）への方向転換はやむを得ないと思うが、セキュリティ対策が心配である。個人認証が複雑になれば学校現場に負担が生じると感じた。 ※現在本市の認証形態は多要素を組み合わせ顔認証を行っているため、認証の複雑化にはならない見込み（情報政策課） 〈中学校校長会代表〉 教職員のスキルは様々なので、学校現場でも研修をしていかなければならないと思う。また、教育情報基盤がクラウドになると学校に割り当てられるデータ容量は多くなると思うが、メールなどの外部とのやり取りの中で添付ファイルなどの取り出しに苦労するので新基盤ではスムーズな作業ができることを望む。 〈外部専門家〉 ゼロトラストネットワークの方向に行くのは正しいと感じている。 今後新たなネットワークを構築していくには、前橋市とシステム構築者との間で認識のズレが生じないようにしなければならない。 (2) 次期校務支援システムについて 〈学務管理課長〉 次期校務支援システムは前橋市内の学校間で完結できる点は評価できるが、県や国との資料や情報のやり取りの際に、これまでと同様にファイル交換作業等が必要になると、さらに市内の教職員の負担が増えてしまう心配もあるため、よく関係機関との協議を行ってほしい。 〈教育支援課長〉 特別な支援を要する児童生徒に対する指導上の課題や対応方法等は、その都度情報が更新されることが望ましい。教職員によって、閲覧する時点が異なることで、把握している情報が違っていることは避けなければならない。 〈小学校校長会代表〉 情報漏洩はどんな強固なセキュリティシステムを持っていたとしても最後には個人のリテラシーの問題になってしまう場合もあるので、リテ

	ラシーの研修や教職員の責任が増えてしまう懸念がある。 〈教育長〉 教員が情報活用能力を身に着けていくとともに教育改善がどう図られるのかは、教育委員会としても研究していかなければならない。 (3) 次期学習者用端末について 〈前橋高等学校事務長〉 市立高校の端末についても、小中学校の端末と同様に、教育委員会内での協議検討をお願いしたい。県立高校は端末の更新がBYODになっていく中で、県立高校との更新方法の違いが市立高校の魅力化に繋がると良いと感じた。 〈教育次長〉 i P a dは直感的な操作には長けているが、外付けのキーボードの利用はあまり進まなかったように思う。次期端末をC h r o m e b o o kに転換することで低学年からキーボードに慣れることも大事だと思う。 〈指導担当次長〉 学習面、通信面、運用面、コスト面等、色々な視点から検討をいただきありがたい。その中でも特に「こどもたちの学びにとって」という視点が重視している点も良い。これからの時代を考え、C B T化や生きる力の育成などを考慮するとC h r o m e b o o kが有効かもしれない。 〈中学校校長会代表〉 中学生はキーボードを活用する機会が増えてきており、卒業文集などもキーボードを活用し作成するように移行を進めている。C h r o m e b o o kに変更したとしてもi P a dのような簡単に画像を活用した資料作成などの利便性も担保していただきたい。 〈小学校校長会代表〉 前橋市学校教育情報化推進計画にキーボード操作については明記されていると思うので、学校現場でしっかりと指導していく必要がある。また、C h r o m e b o o kに転換する理由は、今後のC B T試験対策ということではなく、I C Tの活用能力向上のためにキーボードが必要であるためと理解している。 〈外部専門家〉 当初端末を導入する時には他市町村がC h r o m e b o o kを導入している所が多い中で前橋市はi P a dを導入した経緯がある。次期端末を導入する時には学校現場の声を良く聞いて反映できると良い。せっかく現端末に慣れてきたところに新端末へ変更になってしまうと現場に負担が生じてしまう。実際に使用した現場の意見が最も大事である。 I C Tは常に変わっていくもので、変わっていかないといけない時代になっており、教育委員会や学校現場も変化に付いていくのも大変だが、変わり続けることが大事だと思うので引き続き頑張っていたきたい。
--	--

文化財調査委員会議の開催結果について

文化財保護課

会 議 名	令和 6 年度第 1 回前橋市文化財調査委員会議
日 時	令和 6 年 7 月 1 6 日（火）午前 1 0：0 0～1 1：5 0
場 所	文化財保護課 2 階 大会議室
出 席 者	（委員：5 人） 村田委員長、能登委員、右島委員、須永委員、野口委員 （事務局：1 1 人） 吉川教育長、片貝教育次長、信澤文化財保護課副参事、他 8 人
議 題	1 報告・協議 （1）令和 6 年度文化財保護行政について （2）令和 6 年度文化財調査委員会活動計画について （3）市内文化財調査報告及び登録有形文化財申請等について 2 主な事業及び事業計画 （1）臨江閣補助事業（防火対策工事） （2）群馬県指定重要文化財三夜沢赤城神社本殿並びに中門保存修理事業 （3）令和 6 年度総社古墳群範囲内容確認調査事業 （4）令和 6 年度上野国府等範囲内容確認調査事業 （5）文化財普及啓発事業について 3 その他 （1）歴まち事業について （2）文化財保存活用地域計画について （3）臨江閣の指定管理制度導入について
結 果 概 要	1 報告・協議 令和 6 年度の文化財保護行政について、説明を行った。また、市内文化財に関する調査報告、今年度の事業計画、登録有形文化財申請などについても併せて説明を行った。 2 主な事業及び事業計画 令和 6 年度の主な事業について、各担当者が説明した。 3 その他 歴まち事業の進捗状況の説明に加え、今年度から開始予定の文化財保存活用地域計画について、担当者が説明を行った。また、臨江閣の指定管理制度についても担当者が説明を行った。
主な意見等	○文化財市民ボランティアについて 参加者を増やすには、講座の充実が必要。また、学校・学生を巻き込んだ内容を考えたかどうか。解説内容についても、定期的に勉強会などを開催し、ボランティアにも最新の研究成果を提供するべきである。 ○指定候補について 現在拡幅工事中の国道 50 号線沿いに位置する二之宮町の旧郵便局について、指定を考えたかどうか。 ○文化財保存活用地域計画について 未指定含めた文化財のリスト化は大変な作業である。歴まちとの調整や全庁的な調整も必要となる。

見て 聞いて 対話して 体験して

参加生徒募集 他 4

集まれ中学生！ 国際理解連続講座

募集期間 | 令和6年7月1日(月)～令和6年7月24日(水) 申込方法 | Googleフォーム(裏面二次元コードより)
参加費用 | 2,150円(東京グローバルゲートウェイ入場料の半額) ※市が入場料の半額を負担します。
※英語村でのオプションメニューも参加する場合、+1,700円
※英語村の最少催行人数は15名です。

THEME 多文化理解・多文化共生って何？

自分の「当たり前」が別の人の「当たり前」ではありません。国の違い、民族の違いだけでなく、文化や習慣、考え方などいろいろな違いがあります。違いを受け入れることは、時に大変なこともあります。違いがあるからこそ、互いに助け合って、つながり合えるはず。自分自身のこと、まわりのこと、世界のことを知り、文化の異なる人々や国の様子について学び、ともに生きる社会について、一緒に考えてみませんか？

SCHEDULE 日程・スケジュール



第1回 2024.10.12 SAT

会場：第3コミュニティセンター

テーマ
「多文化を知ろう」

9:30～10:30
多文化理解・共生とは

10:45～11:45
海外留学経験者の話



第2回 2024.11.9 SAT

会場：中央公民館

テーマ
「海外を身近に感じよう」

9:30～10:30
海外で活躍するには
講師：松原 聡(ピアニスト)
歌：松原 広美(オペラ歌手)

10:45～11:45
留学生と交流
留学生との交流・母国の代表的な料理試食



オプション
体験です

第3回 2024.11.23 SAT

会場：Chuo global village - 英語村 -

テーマ
「体験学習」

10:00～12:30
体験学習



第4回 2024.12.14 SAT

会場：北欧家具店

テーマ
「考え方の違いを知ろう」

9:30～10:30
ロジカルシンキング
海外の人々の思考法を学ぶ

10:45～11:45
北欧家具店
世界各地で受け入れられる方策



第5回 2024.12.26 THU

東京グローバルゲートウェイ(東京江東区青海)

テーマ
「世界の入り口に立とう」

前橋発 6:30～前橋着 18:00頃
①エアポートゾーン → 日本にしながら留学体験
②ホテルゾーン → コマ撮り作品を作ろう
※①、②は選択制です



第6回 2025.1.11 SAT

会場：共愛学園前橋国際大学

テーマ
「留学生と交流しよう」

9:30～11:30
留学生との意見交換
第2回講座で交流した留学生と実施

11:30～12:00
構内見学
共愛学園前橋国際大学の構内を見学

国際理解連続講座 実施要領

1 目的

国際理解の6要素(1多文化理解、2自文化理解、3コミュニケーション能力、4国際交流・協調、5グローバル教育、6人権教育)について、幅広く学習することをとおして、多文化理解・共生について考えを深め、国際的な課題や世界に目を向ける契機とする。

2 主催

前橋市教育委員会学務管理課 協力団体|NPO法人 多文化共生ぐんま

3 会場

前橋市、東京グローバルゲートウェイ(東京都江東区青海)

4 実施期日

令和6年10月12日(土)～令和7年1月11日(土)

詳細につきましては、申し込みをいただいた方に別途ご案内いたします。

5 内容

多文化共生推進士や海外での留学、勤務の経験がある方などを講師に迎えて、講義を行うとともに、体験型英語学習施設での体験学習や留学生との交流活動を行う。

6 募集人数

前橋市内の中学生 先着100名

7 参加資格

第1回～第6回の講座(第3回はオプション)に参加できる生徒

※各集合場所までの往復は、各ご家庭で対応をお願いいたします。

8 参加の申込

参加を希望する生徒は、令和6年7月1日(月)～7月24日(水)の期間内に右の二次元コードを読み込むか、下記URLを入力してフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/P7VgUXi9Zdc36aAS7> ※複数名で参加する場合でも、それぞれお申し込みください。

申込フォーム



9 参加料

費用2,150円(東京グローバルゲートウェイの入場料の半額)を参加料としていただきます。残り半額とバス代は市が負担いたします。

※11月23日の「Chuo global Village-英語村-」の体験学習は、オプションの体験となります。

参加する場合は、追加で1,700円を集金させていただきます。

※オプション体験の最少催行人数は15名です。最少催行人数に満たない場合は、実施いたしません。

10 その他

※多文化理解・共生の概要や留学生との交流をとおして、学んだこと・感じたこと・疑問点等を踏まえて、次の講座や体験学習を行っていきます。交流や体験学習は、グループでの活動も予定していますので、全ての講座、体験学習(第3回はオプション)への参加を原則とさせていただきます。

※参加費用は、10月12日の第1回講座の日に、受付で現金でお支払いください。

※会場までの往復は、各ご家庭の対応をお願いします。

※東京グローバルゲートウェイは、市が大型バスを用意します。集合場所の駐車場までの往復は、各ご家庭の対応をお願いします。

※東京グローバルゲートウェイ当日の昼食は、各自で用意してください。館内で昼食スペースは利用できますが、売店等はありません。

市立前橋高等学校体育館空調設備新設工事の概要について

前橋市立前橋高等学校

1 目的等

熱中症対策及び避難所環境の整備を目的とした市立前橋高等学校体育館空調設備新設工事を実施します。近年、猛暑の影響に伴い、授業や部活動、学校説明会等の各種校内行事の実施に支障が出ていること、また指定避難所としての防災機能の向上のため、空調設備を新設します。

2 工事概要等（予定）

体育館現況

RC 造 3 階建て

1 階 サブアリーナ 1, 5 0 0 m²

2 階 部室

3 階 メインアリーナ 1, 8 0 0 m²

工事

○エアコン設置

1 階 天井カセット形 2 0 台（室外機 5 台）

3 階 吊り下げ形 2 0 台（室外機 6 台）

3 工事スケジュール

令和 5 年度 実施設計

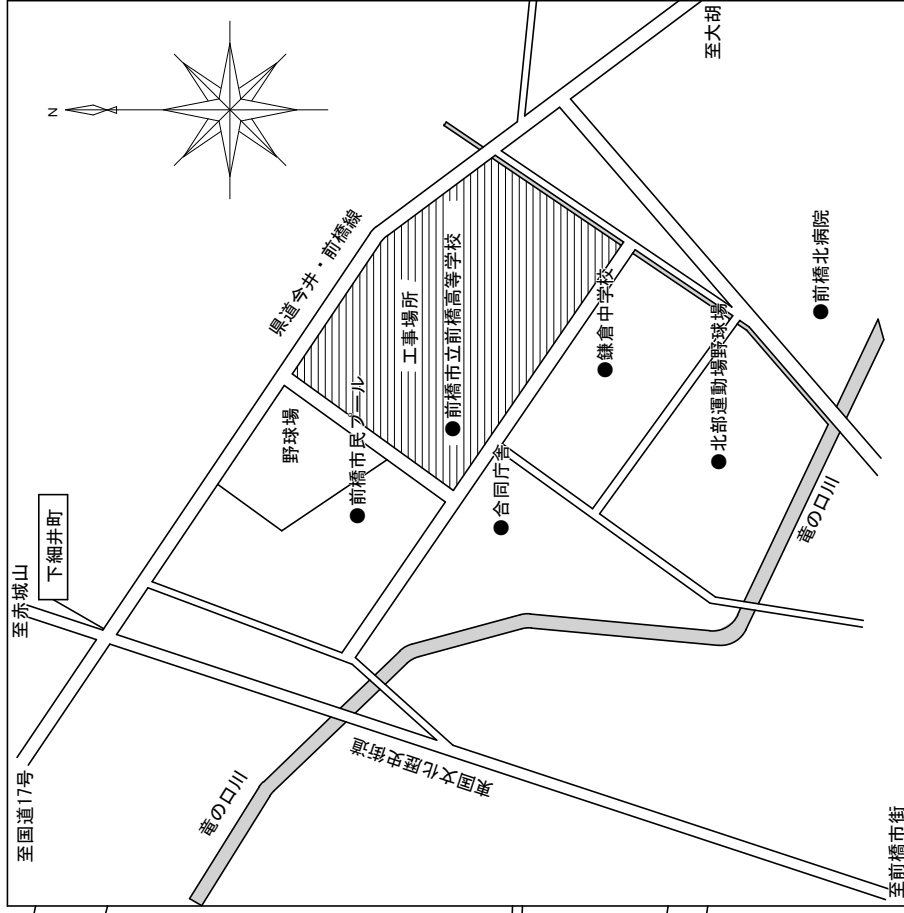
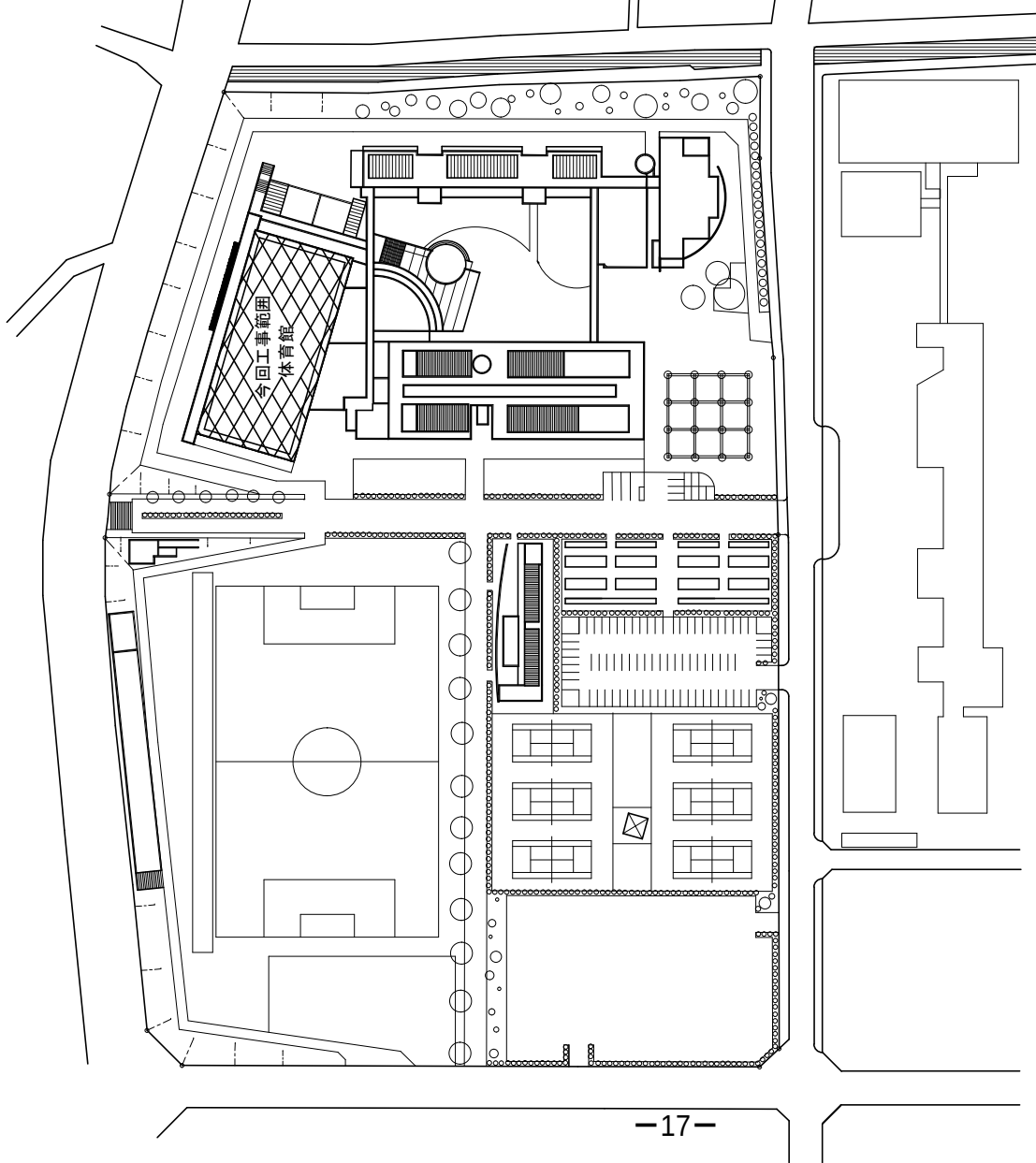
令和 6 年度～令和 7 年度 設置等工事

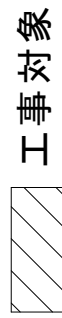
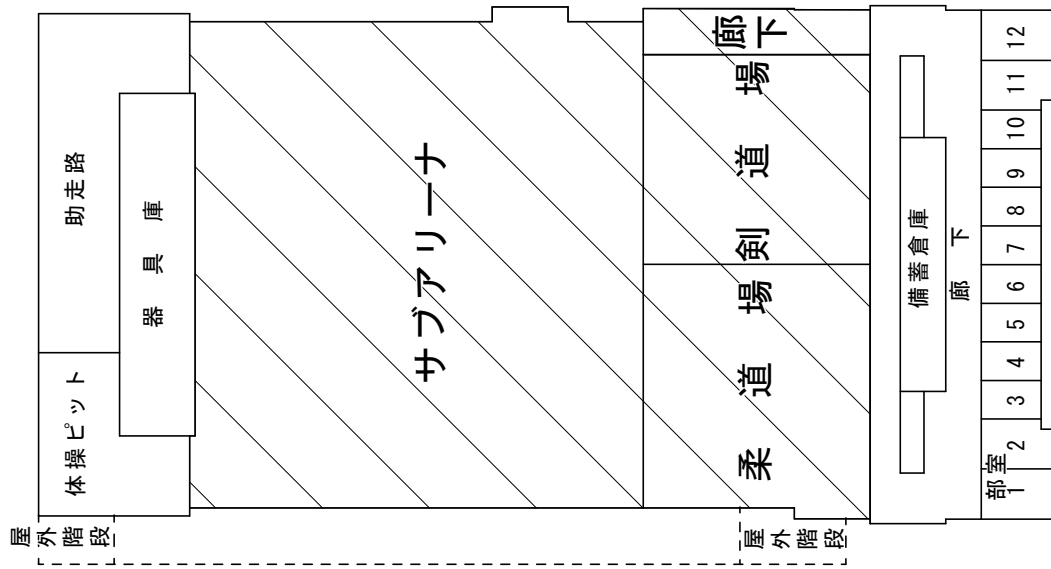
今回改修工事建物

市立前橋高等学校体育館空調設備新設工事

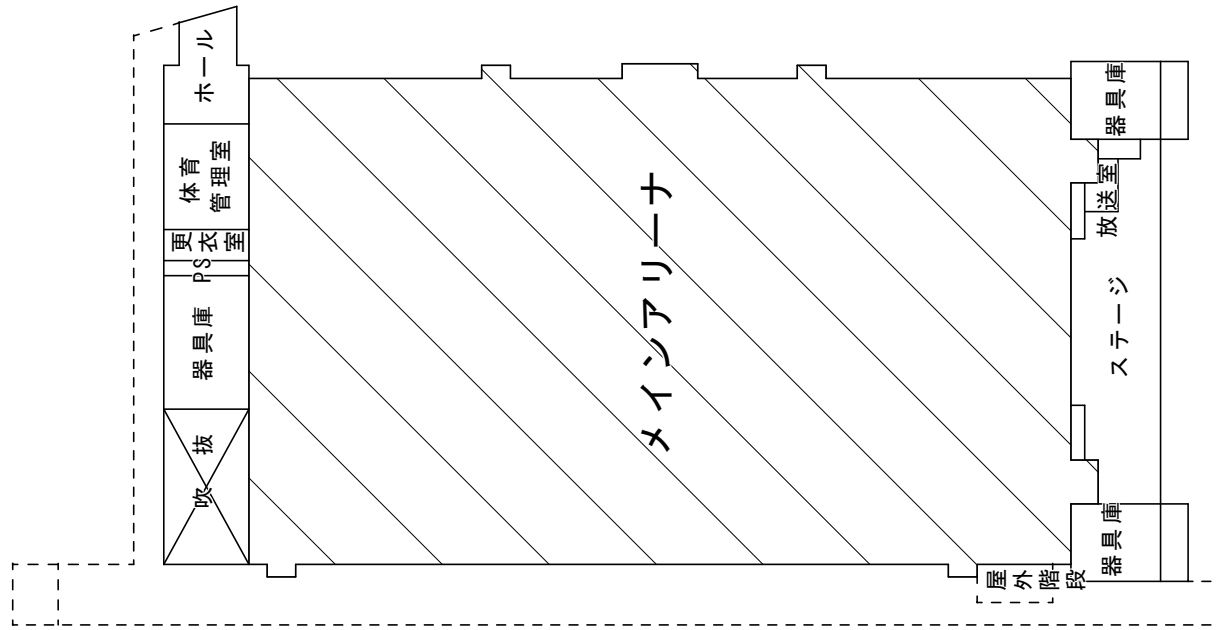
配置図

案内図





1 階平面図 (サブアリーナ)



市立前橋高等学校体育館空調設備新設工事

令和 6 年度第 1 回前橋市社会教育委員会議の開催結果について

生涯学習課

会 議 名	令和 6 年度第 1 回前橋市社会教育委員会議
日 時	令和 6 年 7 月 8 日（月）午前 1 0 時から正午
場 所	中央公民館 5 0 1 学習室
出 席 者	（出席委員：1 0 人） 佐藤博之議長、森谷健副議長、土田かほる委員、宮内洋委員、間々田久渚委員、栗木佳香委員、張信愛委員、結城恵委員、西谷泉委員、大畠聡委員 （事務局：9 人） 吉川教育長、片貝教育次長、金井指導担当次長 他 6 人
議 題	提言の提出に向けて
結 果 概 要	○提言の提出に向けて 令和 7 年に提出予定の提言に向け、これまでの社会教育委員会議の取組について事務局より説明を行い、その後、グループワークを行い、本市の社会教育について委員から多岐にわたる意見をいただいた。
主な意見等	○ボランティアをした大学生の単位を認定するような仕組みづくりをすることで、学校や公民館などの人的不足が解消されたり、活性化されたりするのではないか。多くのボランティアが参加できるような制度設計が必要。 ○職員の専門性として、社会教育主事の資格がある。この資格や業務内容についてもっと周知したり、必要性を訴えたりすることが必要ではないか。 ○公民館の業務量が多いという意見が出ていたが、人材確保はもちろん、予算についても考える必要がある。